

健康豆知識

認知症と生活習慣病

愛知淑徳大学健康医療科学部 教授

愛知淑徳大学健康相談室 室長

愛知淑徳大学クリニック 糖尿病内科 医師

井口昭久

代表的な認知症である、アルツハイマー病。今まで覚えていたことを忘れてしまい、知能は持続的に低下し、脳の委縮を伴う病気である。もう一つの代表的な認知症は、血管性認知症。脳の動脈硬化がベースにある。近年、両者の原因はオーバーラップしており、アルツハイマー病も血管性認知症と同様に、糖尿病、

高脂血症、高血圧などが危険因子だとする報告もでてきた。すなわち「アルツハイマー病も生活習慣病の一種である」と考えられるようになったのである。年を取れば誰でも物忘れをするようになるが、誰もが認知症になるわけではない。認知症はあくまでも病気であり、予防可能な疾患である。

定例医療講演会

会場 愛知淑徳大学AHSMEC(アースメック)棟
1階 健康相談室

参加無料 事前申込み制 (各回45人先着順)

地域の皆さまへ、健康づくりや病気の予防に役立つさまざまな情報を、わかりやすくお伝えしていきます。

2014年度前期日程表 講演予定

講演日・時間	所属・氏名	講演テーマ	申込締切(必着)
7/1 13:30~ 15:00 (火)	愛知淑徳大学クリニック 院長 言語聴覚学専攻 教授	耳・鼻・のどにがんはできるの？ —耳鼻咽喉科のがんの話— 稲福 繁	6/24 (火)
7/18 10:30~ 12:00 (金)	スポーツ・健康医科学科 教授	あなたの健康づくりに役立つ漢方養生法 楊 衛平	7/11 (金)
7/28 14:00~ 15:30 (月)	健康相談室 室長・医師 スポーツ・健康医科学科 教授	「糖尿病」をどうやって治すか？ 井口 昭久	7/22 (火)

●愛知淑徳大学健康相談室 0561-56-0077
(平日10:00~17:00)

※その他詳細は同封のリーフレットをご覧ください。

